

モンゴルでコロナ禍に立ち向かう スタートアップ企業を後押し



2020年10月「モンゴルICT EXPO2020」で本プログラムの正式発表をしたときの様子。

JICAは、モンゴル通信事業最大のモバイル通信事業者*1、モンゴル日本人材開発センターの2者と連携し、コロナ禍下の社会経済の変容に対応するスタートアップ企業への支援プログラム**に取り組んでいる。

モンゴルでは、新型コロナウイルスの影響で断続的に外出制限などの規制が続いており、医療や教育、ビジネスサービス分野などでさまざまな経済的影響が出ている。同プログラムは、革新的なビジネスモデルやテクノロジーを有するモンゴルのスタートアップ企業を対象に事業アイデアを募集。企業をサポートすることで、コロナ禍における社会課題の解決と同国発のイノベーションを加速させることがねらいだ。

昨年10月11日には同国の138社からの応募があり、そのなかからオンライン医療サービスを受けられるアプリの開発や遠隔教育サービス等の事業アイデアを持つ4社を採択。今年4月にも日本企業や投資家に向けたイベントを行うなど、ネットワークづくりに力を入れる予定だ。

*1 日本の電気通信事業者KDDI傘下のMobicom Corporation LLC
*2 World Startup Accelerator Program in response to COVID-19 (通称 Mon Ja)。

ニュース深掘り! 地元のビジネスを世界に広げたい

今回のプログラムを形成する過程において、同国のスタートアップやIT産業の成長の可能性を実感するとともに、非常に多くの支援ニーズがあることをあらためて確認しました。今後はスタートアップが持続的に発展できるようなエコシステムの形成に向けて、多様な人や組織を巻き込みながら、さまざまな観点で展開していければと考えています。

モンゴルは、1990年に社会主義体制から市場経済体制になり社会が一変。競争的な環境でのビジネス経験に乏しく、世界的に成功を収めているビジネスの事例も少ないのが現状です。

そんな同国で行うプログラムの最大の特徴は、現地のスタートアップの実証実験に関わる支援を行うだけでなく、採択企業のビジネス拡大に向けた手厚いサポートを行うことです。今回採択された4社に対しては、6か月間にわたりメンタリングやスタートアップ経営に関する講義、大企業や投資家とのネットワークづくりを実施するほか、資金調達を目的としたイベントを開催する予定です。また、海外マーケットへの販路拡大や海外投資家とのマッチングなど、JICAの持つネットワークを最大限に生かしたサポートもしていきたいと考えています。

モンゴルは、1990年に社会主義体制から市場経済体制になり社会が一変。競争的な環境でのビジネス経験に乏しく、世界的に成功を収めているビジネスの事例も少ないのが現状です。

モンゴル事務所
小泉泰雅さん
こいずみ・たいが

2015年JICA入構。アジア地域における中小企業・スタートアップ支援案件を担当後、19年6月から現職。現在はモンゴルのスタートアップやIT産業の支援に奮闘中。



JICA HEADLINE NEWS

- 3月 9日 | ▶【東日本大震災から10年Vol.3】復興・防災の知見を途上国で生かす
途上国の復興・防災・減災に向けたJICAの協力を伝える3回シリーズ。最終回は東北での研修について紹介。
- 3月 3日 | ▶フィジー 新型コロナウイルス危機対応のための融資契約に調印
社会的および経済的な影響が深刻な同国において貧困、脆弱層への影響を抑制・緩和する。
- 3月 1日 | ▶モザンビーク 無償資金協力により給水施設・設備を整備
安全な水へのアクセス改善を図り、同国の生活環境の向上を目指す。



◀◀ JICAのニュース&トピックスをもっと読みたい方はアクセス!
<https://www.jica.go.jp/information/index.html>